

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)  
(医歯理工学先端研究特論)

## 記

1. 講師：信愛クリニック 院長  
井出 広幸 先生
2. 演題：AEDP(Accerelated Experiential Dynamic Psychotherapy:加速化体験力動療法)について
3. 日時 平成30年10月25日(木)18時00分～20時00分
4. 場所 10号館2階 歯科心身医学分野医局
5. 要旨

今回は、AEDP(Accelerated experiential Dynamic Psychotherapy:加速化体験力動療法)という米国の精神療法理論を用いて、MUOSが発生する機序を、わかりやすく説明します。Change Triangle というツールを用いてMUOS発症の機序を臨床に取り入れることにより、歯科心身医学に取り組む皆さまが、これまで以上の成果が得られることを確信しています。

昨年に引き続き、PIPC(Psychiatry In Primary Care)を我が国に導入された井出広幸先生の講義です。

今回は MAPSO (Mood, Anxiety, Psychoses, Substance induced, Organic/Others の頭文字) 問診から治療に結びつけるステップについてのおさらいから始まり、MUOS (Medically unexplained oral symptom)がどうして発症するのか、その機序のより奥深い意味について AEDP (Accelerated experiential Dynamic Psychotherapy) の理論に基づいて、平易な例えを交えながらユーモアたっぷりにご教授頂きました。



非常に大雑把に言えば、患者さんの Core emotion, inhibitory emotion, defense が織り成す triangle が MUOS の発症メカニズムになっている、不安・自責・罪悪感・自己否定などの Core emotion を抑圧しようとするところに MUOS としてのすり替え (defense) が起こるというご説明でした。この悪循環を”change triangle“するのが AEDP のキモとの由です。そこにはまた深い治療技法が必要になるとのことで今回は言及されませんでした。目指すべきは 7C status (calm、curious、compassionate、connected、confident、clear、colleagues) というより望ましい状態だと結ばれました。



Hilary Jacobs Hendel 著 “It’s not always depression”と井出先生

(Hilary Jacobs Hendel ; It's Not Always Depression: Working the Change Triangle to Listen to the Body, Discover Core Emotions, and Connect to Your Authentic Self)

お薬だけでは治らない、という患者さんもよく経験される場所ですし、AEDPという新しいコンセプトを勉強していくことで、当科でももっと治療の幅と深みが増すことと思われます。

講義の後は恒例の懇親会となり、ためになるご示唆を頂きつつ、研修医マッチングも無事に終わったばかりの学生さんたちも交えて、楽しく盛り上がりました、



(文責：豊福)